

# 令和6年度 環境行動計画

## 1. 環境保全活動への取り組みに対する現状と課題

### (1) 環境保全のための仕組み・体制の整備

環境方針を策定し環境保全推進体制を定め、従業員に対して環境関連法規制の内容を伝える。  
今後は環境保全の取り組みをもとに、定期的に組織や役割、責任、権限の見直しを行う。

### (2) エコドライブの実践

車種別、走行距離、燃費の使用状況について把握し、燃費向上の目標を定めている。  
燃費目標を達成するため、エコドライブ講習会や実技講習会を開催する必要がある。  
安全運転＝エコドライブであることを自覚し、デジタコによる診断判定を基に安全運転を指導する。  
燃費実績が悪いドライバーの個別指導・実技講習の実施、優良ドライバーの表彰を継続する。

### (3) 低公害車の導入を

代替や増車には、低燃費かつ低排出ガス認定車を導入する。

### (4) 自動車の点検整・整備

基本的な整備を実施し、4大現象を中心に環境への悪影響のある現象に対する注意をはらう。

- ① 排ガスの汚れがひどくなってきた。
- ② 燃費が悪くなってきた。
- ③ 車両の騒音が増してきた。
- ④ エアコンの効きが悪くなってきた。

### (5) 廃棄物の適正処理及びリサイクルの推進

廃棄物処理は適正に行う。(分別処理、リサイクル、適正な事業者での処理)

### (6) 事務所における環境保全の推進

5Sの徹底(整理、清掃、整頓、清潔、始末)

4R運動の実施など基本的なことを実施する。

Reduce(低減)、Reuse(再使用)、Recycle(再利用)、Refuse(断捨離)

## 2. 目標

(1) 目標管理の推進

(2) 1年単位で燃費向上の見直し

## 3. 目標達成に向けた具体的な取り組み

(1) 従業員全員に年度毎に個人目標を決めさせ評価を行う。

(2) 外部講師による安全運転講習会にエコドライブも含める

和光運輸株式会社  
代表取締役 山本光一郎